

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-187852

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月21日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/22 L
3/14	3 4 0	3/14 3 4 0 B
15/02	3 5 5	15/02 3 5 5 A
17/60		G 0 7 G 1/12 3 4 1 Z
G 0 7 G 1/12	3 4 1	G 0 6 F 15/21 L

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-345926

(22) 出願日 平成 8 年(1996) 12月25日

(71) 出願人 000003562

株式会社テック

静岡県田方郡大仁町大仁570番地

(72) 発明者 伊賀崎 俊朗

静岡県三島市南町 6 番78号 株式会社テッ

ク三島工場内

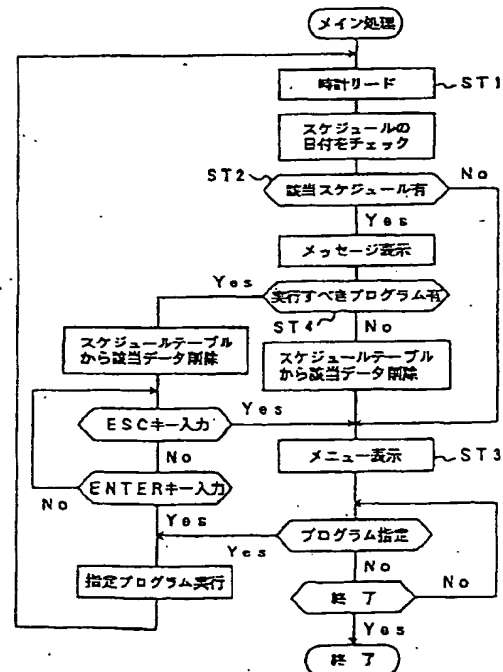
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外 6 名)

(54) 【発明の名称】 データ処理装置

(57) 【要約】

【課題】 指定された日に指定された業務の処理プログラムを選択操作をせずに実行することで、業務作業者の日付管理の負担を軽減する。

【解決手段】 ハードディスクドライブに日付データと共にメッセージデータ及び実行するプログラムを示すデータを記憶したスケジュールテーブルを設け、電源投入時及びメニュー画面を表示する前に現在の日付でスケジュールテーブルの日付データをチェックして、一致する日付データのメッセージデータをディスプレイに表示して、ENTERキーの確認操作で実行するプログラムを示すデータにより指定されたプログラムを実行するもの。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示器及びデータ入力手段を備え、複数の業務に対してそれぞれの業務処理を行う処理プログラムを備え、前記表示器に表示するメニュー画面での選択により該当する処理プログラムを実行するデータ処理装置において、

現在の日付を計時する現在日付計時手段と、指定された日付で前記データ入力手段により入力されたデータを記憶すると共にこのデータに対応させて実行する処理プログラムを記憶するスケジュール記憶手段と、前記表示器にメニュー画面を表示する時に、前記スケジュール記憶手段によりデータが記憶された日付の中から前記現在日付計時手段により計時された現在日付と一致する日付を検索する日付検索手段と、

この日付検索手段により現在日付と一致する日付が検索された時に、前記表示器に前記スケジュール記憶手段により記憶された該当するデータを表示すると共に該当する処理プログラムを実行するスケジュール機能手段とを設けたことを特徴とするデータ処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、表示器及びデータ入力装置を備え、複数の業務に対してそれぞれの業務処理を行う処理プログラムを備え、表示器に表示するメニュー画面での選択により該当する処理プログラムを実行するデータ処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】データ処理装置、例えば販売管理システム等を運用しているものにおいては、各得意先毎に指定された日に指定された業務を行う必要がある場合がある。例えば月単位で各得意先毎に異なる締日に該当する得意先についての締日業務処理を行う必要がある。また、各得意先毎に異なる納品日に納品業務処理を行う必要がある。業務処理を行う業務作業者は、カレンダーや手帳等に指定された日付に得意先と業務名とを書き込んでおき、毎日カレンダーや手帳等を確認して、指定された日に書込まれた得意先に対して、販売管理システムのメニュー画面から書込まれた業務名を選択して、業務を行うようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のデータ処理装置では、指定された日に指定された業務を行うことが決定しているのに、指定された日に指定された業務処理の処理プログラムを実行させるために、業務作業者がメニュー画面から実行すべき業務を選択する操作を行わなければならない、操作性が悪いという問題があった。業務作業者がカレンダーや手帳等の確認を怠ると、得意先に対して指定された日に指定された業務を行うことができないという問題があった。そこでこの発明は、指定された日に指定された業務の処理プログラムを選択操作をせずに実

行することで、業務作業者の日付管理の負担を軽減することができるデータ処理装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明は、表示器及びデータ入力手段を備え、複数の業務に対してそれぞれの業務処理を行う処理プログラムを備え、表示器に表示するメニュー画面での選択により該当する処理プログラムを実行するデータ処理装置において、現在の日付を計時する現在日付計時手段と、指定された日付で前記データ入力手段により入力されたデータを記憶すると共にこのデータに対応させて実行する処理プログラムを記憶するスケジュール記憶手段と、表示器にメニュー画面を表示する時に、スケジュール記憶手段によりデータが記憶された日付の中から現在日付計時手段により計時された現在日付と一致する日付を検索する日付検索手段と、この日付検索手段により現在日付と一致する日付が検索された時に、表示器にスケジュール記憶手段により記憶された該当するデータを表示すると共に該当する処理プログラムを実行するスケジュール機能手段とを設けた設けたものである。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は、この発明を適用したデータ処理装置としての伝票発行装置1を示す斜視図である。この伝票発行装置1は、表示器としてのディスプレイ2と、データ入力手段としてのキーボード3と、納品書や請求書等の各種伝票用紙をセットする用紙挿入部4と、印字された伝票用紙が排出される用紙排出部5と、フロッピーディスクをセットするフロッピーディスクスロット6とが設けられている。

【0006】図2は、この伝票発行装置1の要部回路構成を示すブロック図である。11は、制御部本体を構成するCPU(central processing unit)である。このCPU11が行う処理のプログラムデータが記憶されたROM(read only memory)12、前記CPU11が処理を行う時に使用する各種メモリのエリアが形成されたRAM(random access memory)13、前記ディスプレイ2に表示する表示データがビジュアルデータ(ドットイメージデータ)として展開されるVRAM(visual RAM)14、文字コードに対応してフォントデータが記憶されたCG(character generator)15、現在の日付・時刻を計時する時計部16は、それぞれシステムバス17を介して前記CPU11と接続されている。

【0007】また、前記CPU11は前記システムバス17を介して、前記フロッピーディスクスロットに挿入されるフロッピーディスク18に対してデータの書き込み及び読取りを行うフロッピーディスクドライブ19を制御するフロッピーディスクコントローラ20、ハードディスクドライブ21を制御するハードディスクコントロ

ーラ22、前記キーボード3を制御するキーボードコントローラ23、前記ディスプレイ2を制御する表示コントローラ24、前記用紙挿入部4及び前記用紙排出部5を備え各種伝票用紙に印字データを印字する印字部25を制御する印字コントローラ26と接続されている。

【0008】前記フロッピーディスク18には、各種プログラムデータ及び各種管理データ(顧客データ、売上データ、製品データ等)が記憶されている。なお、必要なプログラムデータ及び管理データは、予め前記ハードディスクドライブ21にインストールされている。前記ハードディスクドライブ21には、前述のインストールされたプログラムデータ及び管理データの他に、スケジュールテーブル21-1が形成されている。このスケジュールテーブル21-1は、図3に示すように、登録した日付データに対応して前記ディスプレイ2に表示すべきメッセージデータ及び実行するプログラムを示すデータを記憶するようになっている。なお、この登録方法は、スケジュール設定のプログラムを起動させて、日付データを入力し、続いてメッセージデータを記憶し、このメッセージに関して実行するプログラムがあればプログラム名を入力して、設定完了を示す操作を行えば、このスケジュールテーブル21-1に日付データ、メッセージデータ、プログラム名のデータが記憶されることになる。

【0009】図4は、電源が投入された後、前記CPU11が行うメイン処理の流れを示す図である。まず、ステップ1(ST1)の処理として、時計部16から現在の日付・時刻データを読み取(リード)って、この読取った現在の日付・時刻データをVRAM14の所定のエリアに展開し、スケジュールテーブル21-1に登録されている日付データをチェックする。このとき、ステップ2(ST2)の処理として、このチェックで、現在の日付データと一致する日付データがスケジュールテーブル21-1に登録されているか否かにより、該当スケジュールがあるか否かを判断する。

【0010】ここで、該当スケジュールはないと判断すると、後述するステップ3(ST3)の処理へ移行するようになっている。また、該当スケジュールがあると判断すると、スケジュールテーブル21-1から該当スケジュールのデータを読み取り、そのメッセージデータをディスプレイ2に表示する。次に、ステップ4(ST4)の処理として、その読取った該当スケジュールのデータに実行するプログラム名のデータが有るか否かを判断する。

【0011】ここで、実行するプログラム名のデータがないと判断すると、スケジュールテーブル21-1の該当スケジュールのデータを削除し、ステップ3の処理へ移行するようになっている。また、実行するプログラム名のデータが有ると判断すると、スケジュールテーブル21-1の該当スケジュールのデータを削除し、キーボード3のESCキー又はENTERキーのいずれか一方が入力され

るまでの待機状態となる。ここで、ESCキーが入力されたと判断すると、ステップ3の処理へ移行するようになっている。また、ENTERキーが入力されたと判断すると、スケジュールテーブル21-1から読取った該当スケジュールのデータの実行するプログラム名のデータにより指定されたプログラムを実行し、再び前述のステップ1の処理へ戻るようになっている。

【0012】ステップ3の処理は、ディスプレイ2にメニュー画面を表示させ、このメニュー画面においてプログラムを指定する操作又は終了を指示する操作のいずれか一方が行われるまでの待機状態となる。ここで、プログラムを指定する操作が行われたと判断すると、その指定されたプログラムを実行し、再び前述のステップ1の処理へ戻るようになっている。また、終了を指示する操作が行われたと判断すると、このメイン処理を終了するようになっている。このとき、伝票を作成するオペレータは電源スイッチをオフすることができる。

【0013】このような構成のこの実施の形態においては、キーボード3からの入力又は通常の電子手帳等からの入力により、ハードディスクドライブ21のスケジュールテーブル21-1に、スケジュールのデータ(日付データ、メッセージデータ、実行するプログラム名のデータ)が登録される。電源投入時ばかりではなく、実行したプログラムに基づく業務作業を終了して再びメニュー画面に戻るときに、時計部16からの現在の日付・時刻データとスケジュールテーブル21-1に登録されている日付データとのチェックが行われ、現在の日付データと一致する日付データがスケジュールテーブル21-1に登録されていれば、その日付データのスケジュールデータ(該当スケジュールデータ)が読取られ、そのメッセージデータがディスプレイ2に表示される。さらに、そのスケジュールデータの実行するプログラム名のデータが登録されていれば、そのプログラム名により指定されるプログラムデータを実行するか否かを、キーボード3のENTERキーの入力又はESCキーの入力により判断(確認)する。すなわち、ENTERキーの入力によりそのプログラムデータを実行し、ESCキーの入力により、そのプログラムデータの実行を取り止めて、ディスプレイ2にメニュー画面を表示する。

【0014】例えば図3に示すように、スケジュールテーブル21-1に、日付データ「1997.02.10」、メッセージデータ「(株)〇〇への納品日」、実行するプログラム名のデータ「〇〇納品書発行」というスケジュールデータが登録されている場合に、1997.02.10に電源投入したとき又はメニュー画面に戻るときに、時計部16からの現在日付とのチェックにおいて、このスケジュールデータが読取られ、そのメッセージデータ及び実行するプログラム名のデータが、メニュー画面より先にディスプレイ2に表示される。すなわち、「(株)〇〇への納品日」が表示され、プログラム〇〇納品書発行の即実行が

可能なことを表示して、実行の場合にはENTERキーの入力、実行取り止めの場合にはESCキーの入力を指示する表示が行われる。ここで、ENTERキーが入力されれば、プログラム〇〇納品書発行が実行され、ESCキーが入力されれば、メニュー画面が表示される。また、上述したスケジュール機能ではなく、通常の操作(従来の方法)によりプログラム〇〇納品書発行を実行させるには、図5に示すメニュー画面(アイコン選択メニュー)において売上請求管理の業務を選択して、図6に示す売上請求管理の業務画面に切り替わり、この業務画面で開かれた業務メニューウインドウにおいて1.の日次処理を選択して日次処理ウインドウを開き、この日次ウインドウにおいて1.の〇〇納品書を選択することによりプログラム〇〇納品書発行が実行される。以上のように通常のプログラムの実行には、3回の選択操作が必要になる。

【0015】このようにこの実施の形態によれば、ハードディスクドライブ21に日付データと共にメッセージデータ及び実行するプログラムを示すデータを記憶したスケジュールテーブル21-1を設け、電源投入時及びメニュー画面を表示する前に現在の日付でスケジュールテーブル21-1の日付データをチェックして、一致する日付データのメッセージデータをディスプレイ2に表示して、ENTERキーの確認操作で実行するプログラムを示すデータにより指定されたプログラムを実行するものとなっている。したがって、指定された日に指定された業務の処理プログラムをプログラムの選択をすることなく簡単な確認操作ですぐに実行することができ、オペレータが日付が指定された業務に関して日付を管理する負担を

軽減することができる。

【0016】

【発明の効果】以上詳述したようにこの発明によれば、指定された日に指定された業務の処理プログラムを選択操作をせずに実行することで、業務作者の日付管理の負担を軽減することができるデータ処理装置を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施の形態の伝票発行装置を示す斜視図。

【図2】同実施の形態の伝票発行装置の要部回路構成を示すブロック図。

【図3】同実施の形態の伝票発行装置のハードディスクドライブのスケジュールテーブルのメモリ構成を示す図。

【図4】同実施の形態の伝票発行装置で行うメイン処理の流れを示す図。

【図5】同実施の形態の伝票発行装置のメニュー画面(アイコン選択メニュー)を示す図。

【図6】同実施の形態の伝票発行装置のメニュー画面からプログラム〇〇納品書発行を実行するための売上請求管理画面を示す図。

【符号の説明】

2…ディスプレイ、

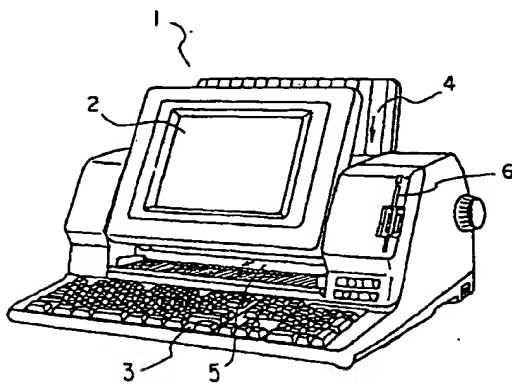
3…キーボード、

11…CPU、

16…時計部、

21-1…スケジュールテーブル。

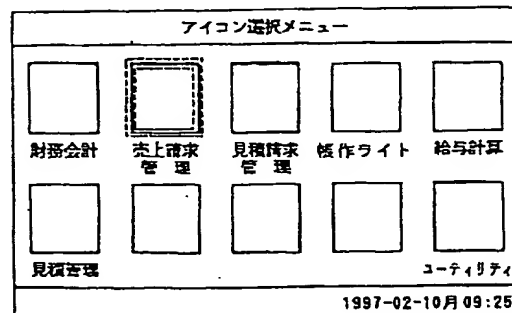
【図1】



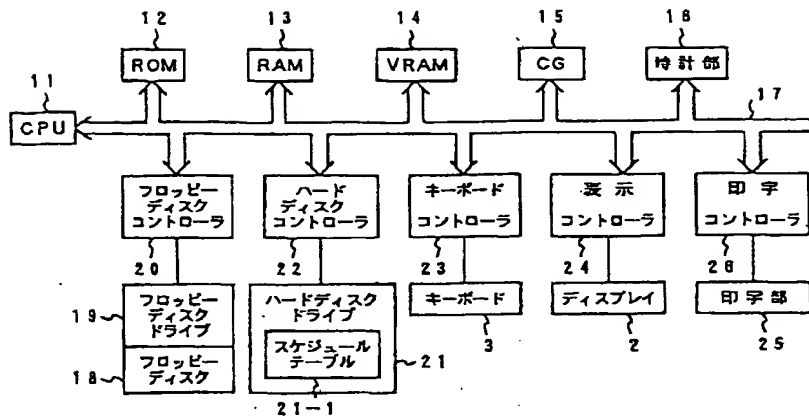
【図3】

21-1	日付	メッセージ	実行するプログラム
	1997.02.10	数〇〇への納品日	〇〇納品書発行

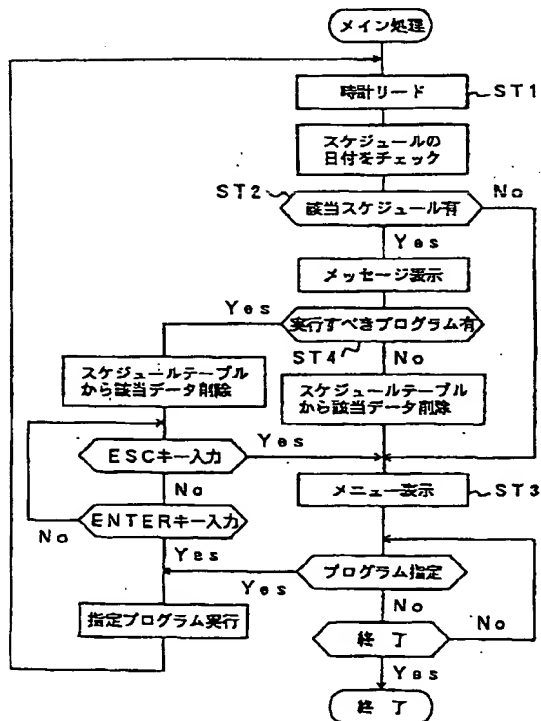
【図5】



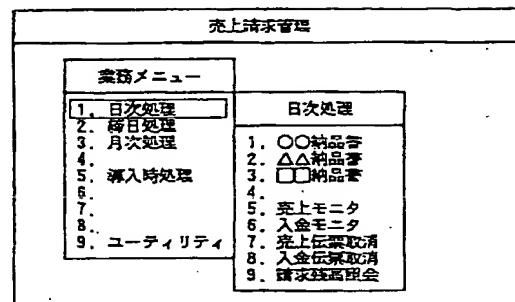
【図2】



【図4】



【図6】



JP-A-10-187852

[Title of the Invention]

Data processing device

5 [Abstract]

[Problems to be Solved]

To reduce the date management burden of a job operator by executing the process program of a designated job on a designated day without any selection operation.

10 [Means for Solving the Problems]

Message data and date indicating a program to be executed as well as date data are stored in the schedule table of the hard disk drive. Then, at the time of power switch-on or before displaying a menu screen, the date data of the schedule table is checked with a current date, the message data of matched date data is shown on the display and a program designated by the data indicating a program to be executed is executed by the confirmation operation of the ENTER key.

20

[What is claimed is]

1. A data processing device which is provided with a display and a data input means and is also provided with a program for processing each of a plurality of

25

jobs, executing a corresponding process program by selecting it on a menu screen shown on the display, comprising:

current date display means for indicating a
5 current date;

schedule storage means for storing data inputted by the data input means with a designated date and simultaneously storing a process program to be executed in correspondence with the data;

10 date retrieval means for searching for a date that coincides with a current date indicated by the current date display means, from among dates stored in the schedule storage means; and

schedule function means for displaying
15 corresponding data stored in the schedule storage means, on the display when the same date as the current date has been searched for by the date retrieval means and simultaneously executing the corresponding process program.

20

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Technological Field to which the Invention belongs to]

The present invention relates to a data processing
25 device which is provided with a display and a data input

means and is also provided with a program for processing each of a plurality of jobs, for executing a corresponding process program by selecting it on a menu screen shown on the display.

5 [0002]

[Prior Art Technology]

In a data processing device for running a sales management system, etc., sometimes it is necessary to execute a designated job on a designated day for each customer. For example, it is necessary to perform the settlement processes of customers corresponding to each of different settlement days for each customer every month. It is also necessary to perform a delivery process on each of different delivery days for each customer.

10 In this case, the operator of such a job process writes in advance both customer names and job names on each designated day of a calendar or a notebook. Every day the operator checks the calendar or notebook, selects written job names on the menu screen of a sales management system for customers written on a designated day, and executes the jobs.

20 [0003]

[Problems to be Solved by the Invention]

In a conventional data processing device, although a designated job to be executed on a designated

25

day is determined, the job operator must select the job on the menu screen in order to execute the process program of the designated job on the designated day, which is not efficient and is a problem. If the operator
5 forgets the check of the calendar or notebook, the designated job cannot be executed on the designated day, which is another problem. In order to solve these problems, the present invention has been made, and it is an object of the present invention to provide a data
10 processing device being capable of reduce the date management burden of a job operator by executing a designated job on a designated day without any selection operation.

[0004]

15 [Means for Solving the Problems]

The present invention is a data processing device which is provided with a display and a data input means and is also provided with a process program for processing each of a plurality of jobs, for executing
20 a corresponding process program by selecting it on a menu screen shown on the display. The data processing device comprises a current date display means for indicating a current date, a schedule storage means for storing data inputted by the data input means with a
25 designated date and simultaneously storing a process

program to be executed in correspondence with the data,
a date retrieval means for retrieving a date that
coincides with a current date shown by the current date
display means, from among dates stored in the schedule
5 storage means and a schedule function means for
displaying corresponding data stored in the schedule
storage means, on the display when the same date as the
current date has been searched for by the date retrieval
means, and simultaneously executing the corresponding
10 process program.

[0005]

[Preferred Embodiment]

The preferred embodiment of the present invention
is described with reference to drawings. Fig. 1 is the
15 perspective illustration of a slip issuance device 1,
which is a data processing device adopting the present
invention. This slip issuance device 1 comprises a
display 2, a keyboard 3, which is a data input means,
a paper feeding unit 4 in which a variety of slip paper,
20 such as a delivery note, an invoice, etc., are set, a
paper ejection unit 5 ejecting printed slips, and a
floppy disk slot 6 in which a floppy disk is inserted.

[0006]

Fig. 2 shows the basic circuit configuration of
25 the slip issuance device 1. A reference numeral 11

represents a CPU (central processing unit), which is the control unit main body. A ROM (read-only memory) 12 on which is recorded process program data to be executed by the CPU 11, an RAM (random-access memory) 13 on which are formed a variety of memory areas to be used when the CPU 11 performs a process, a VRAM (visual RAM) 14 on which data to be shown on the display 2 is stored as visual data (dot-image data), a CG (character generator) 15 storing font data in correspondence with character codes and a clock unit 16 displaying current date/time are connected to the CPU 11 through a system bus 17.

[0007]

The CPU 11 is also connected to a floppy disk controller 20 that controls a floppy disk drive 19 writing/reading the data of a floppy disk 18 to be inserted in the floppy disk slot, a hard disk controller 22 that controls a hard disk drive 21, a keyboard controller that controls the keyboard 3, a display controller 24 that controls the display 2 and a printer controller 26 that controls a printer unit 25 which comprises the paper feeding unit 4 and the paper ejection unit 5, printing data on a variety of slip paper, through the system bus 17.

[0008]

The floppy disk 18 stores a variety of program data

and a variety of management data (customer data, sales data, product data, etc.). Required program data and management data are installed in advance in the hard disk drive 21. In the hard disk drive 21, a schedule table 21-1 is generated in addition to the installed program data and management data. As shown in Fig. 3, this schedule table 21-1 stores message data to be shown on the display 2 in correspondence with a registered date data and data indicating a program to be executed.

5 table 21-1 is generated in addition to the installed program data and management data. As shown in Fig. 3, this schedule table 21-1 stores message data to be shown on the display 2 in correspondence with a registered date data and data indicating a program to be executed.

10 When a schedule setting program is activated, date data is inputted, then message data is stored, a program name is inputted if there is an execution program of this message, and an operation indicating setting completion is performed, the date data, message data and program name data are stored in this schedule table 21-1.

15 name data are stored in this schedule table 21-1.

[0009]

Fig. 4 is a flowchart showing the basic process of the CPU 11 after the power switch-on. Firstly, in step 1 (ST1), current date/time data is read from the clock unit 16, the read current date/time data is stored in the predetermined area of the VRAM 14 and date data registered in the schedule table 21-1 is checked with it. In step 2 (ST2), it is determined in this check whether there is the corresponding schedule based on whether date data that coincides with the current date

20 clock unit 16, the read current date/time data is stored in the predetermined area of the VRAM 14 and date data registered in the schedule table 21-1 is checked with it. In step 2 (ST2), it is determined in this check whether there is the corresponding schedule based on whether date data that coincides with the current date

25 whether date data that coincides with the current date

data is stored in the schedule table 21-1.

[0010]

If in step 2 it is determined that there is no corresponding schedule, the process proceeds to step 3 (ST3), which is described later. If it is determined that there is a corresponding schedule, the data of the corresponding schedule is read from the schedule table 21-1 and the message data is shown on the display 2. Then, in step 4 (ST4) it is determined whether there is program name data that executes the read corresponding schedule data.

[0011]

If in step 4 it is determined that there is no program name data to be executed, the corresponding schedule data of the schedule table 21-1 is deleted and the process proceeds to step 3. If in step 4 it is determined that there is a program name data to be executed, the corresponding schedule data of the schedule table 21-1 is deleted and the process enters a waiting state until either the ESC key or enter key of the keyboard 3 is inputted. If it is determined that the ESC key is inputted, the process proceeds to step 3. If it is determined that the ENTER key is inputted, a program designated by the program name data to execute the corresponding schedule data read from the schedule

table 21-1 is executed and the process returns to step 1.

[0012]

In step 3, a menu screen is shown on the display
5 2, and it enters a waiting state until either an
operation to designate a program or an operation to
instruct the termination is performed. If it is
determined that the operation to designate a program
is performed, the designated program is performed and
10 the process returns to step 1. If it is determined that
the operation to instruct the termination is performed,
this basic process terminates. In this case, an operator
that issues a slip can turn off a power switch.

[0013]

15 In this preferred embodiment, such schedule data
(date data, message data and program name data to be
executed) is registered in the schedule table 21-1 of
the hard disk drive 21 by input on the keyboard 3 or
a normal electronic notebook. Not only at the time of
20 power switch-on, but also when returning to a menu screen
after terminating a job based on a program to be executed,
the current date/time data from the clock unit 16 is
checked with the date data registered in the schedule
table 21-1. If date data that coincides with the current
25 date data is registered in the schedule table 21-1, the

schedule data of the date data (corresponding schedule data) is read, and the message is shown on the display 2. Furthermore, if program name data to execute the schedule data is registered, it is determined
5 (confirmed) whether program data designated by the program name should be executed, based on the input of either the Enter key or ESC key on the keyboard 3. Specifically, the program data is executed by the input of the ENTER key, and the execution is stopped by the
10 input of the ESC key. In the latter case, a menu screen is shown on the display 2.

[0014]

For example, as shown in Fig. 3, if schedule data consisting of date data "02/10/1997", message
15 data "delivery date of a company 00" and program name data to be executed "issuance of the delivery note of a product 00" is registered in the schedule table 21-1, "02/10/1997" is checked with a current date from the clock unit 16 when the power is switched on for
20 "02/10/1997" or the process is returned to a menu screen, this schedule data is read and the message data and program name data to be executed are shown at first on the display 2 and then on the menu screen. Specifically, it is indicated that a program for issuing the delivery
25 note of a product 00 is immediately executable, by

displaying "delivery date of a company OO". Then, the input of the ENTER key and that of the ESC key are displayed and instructed in the case of execution and in the case of the cancellation of execution, respectively. If the ENTER key is inputted, the program for issuing the delivery note of a product OO is executed. If the ESC key is inputted, a menu screen is displayed. In order to execute the program for issuing the delivery note of a product OO by a normal operation (conventional method) instead of by the schedule function described above, a menu screen (icon selection menu) shown in Fig. 5 must be switched to the sales billing management job menu shown in Fig. 6 by selecting a sales billing management job on it, a daily process window must be opened by selecting "1. daily process" and the program for issuing the delivery note of a product OO must be executed by selecting "1. the delivery note of a product OO" on this daily window. As described above, the execution of a normal program requires three selection operations.

[0015]

As described above, according to this preferred embodiment, message data and date indicating a program to be executed as well as date data are stored in the schedule table 21-1 of the hardware drive 21. Then, at

the time of power switch-on or before displaying a menu screen, the date data of the schedule table 21-1 is checked with a current date, the message data of matched date data is shown on the display 2 and a program
5 designated by data indicating a program to be executed is executed by the confirmation operation of the ENTER key. Therefore, the process program of a designated job can be executed on a designated day by a simple confirmation operation without selecting the program,
10 thus reducing the operator's date management burden of date-designated jobs.

[0016]

[Effect of the Invention]

As described above, according to the present
15 invention, a data processing device that can reduce the date management burden of a job operator by executing the process program of a designated job on a designated day without any selection operation, can be provided.

20 [Brief Description of the Drawings]

Fig. 1 is the perspective illustration of the slip issuance device in the preferred embodiment of the present invention.

Fig. 2 shows the basic circuit configuration of
25 the slip issuance device of the preferred embodiment.

Fig. 3 shows the memory structure of the schedule table of the hard disk drive of the slip issuance device in the preferred embodiment.

Fig. 4 is a flowchart showing the basic process
5 of the slip issuance device in the preferred embodiment.

Fig. 5 shows the menu screen (icon selection menu) of the slip issuance device in the preferred embodiment.

Fig. 6 shows a sales billing management screen used to execute a program for issuing the delivery note
10 of a product 00 on the menu screen of the slip issuance device in the preferred embodiment.

[Explanation of the Codes]

2	Display
15 3	Keyboard
11	CPU
16	Clock unit
21-1	Schedule table

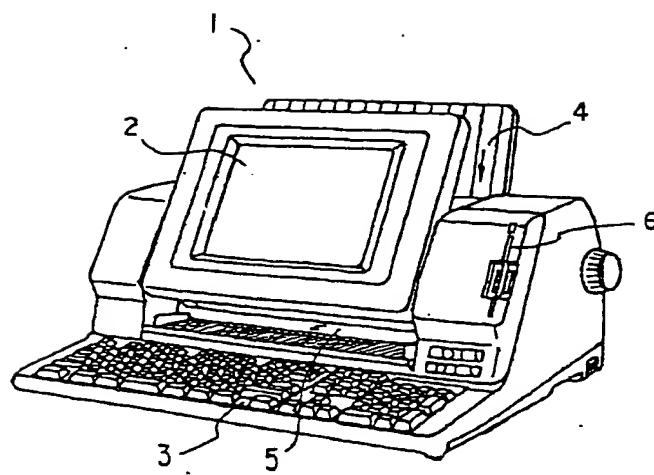


Fig. 1

Fig.2

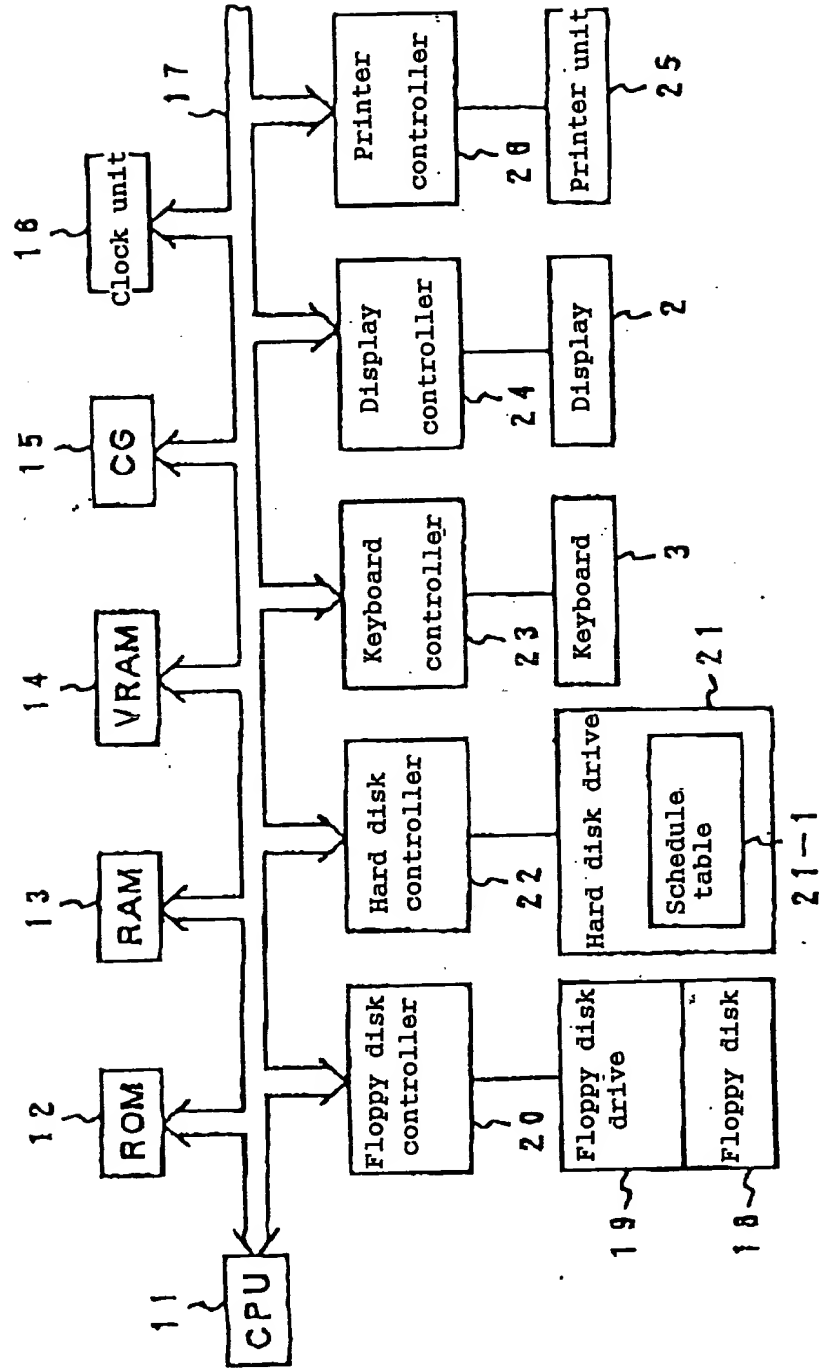


Fig.3

21-1

Date	Message	Program to be executed
1997.02.10	Delivery note of a company OO	Issuance of the delivery note of a product OO

Fig.5

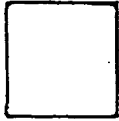

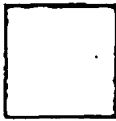
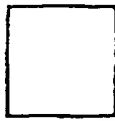

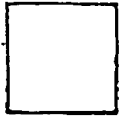
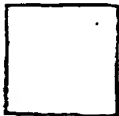
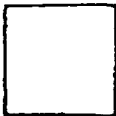
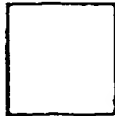
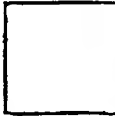
Icon selection menu				
				
Financial accounting management	Sales billing management	Estimate request management	Chosaku write	Salary calculation
				
Estimation management				Utility
2/10/1997 Wednesday 09:25				

Fig.4

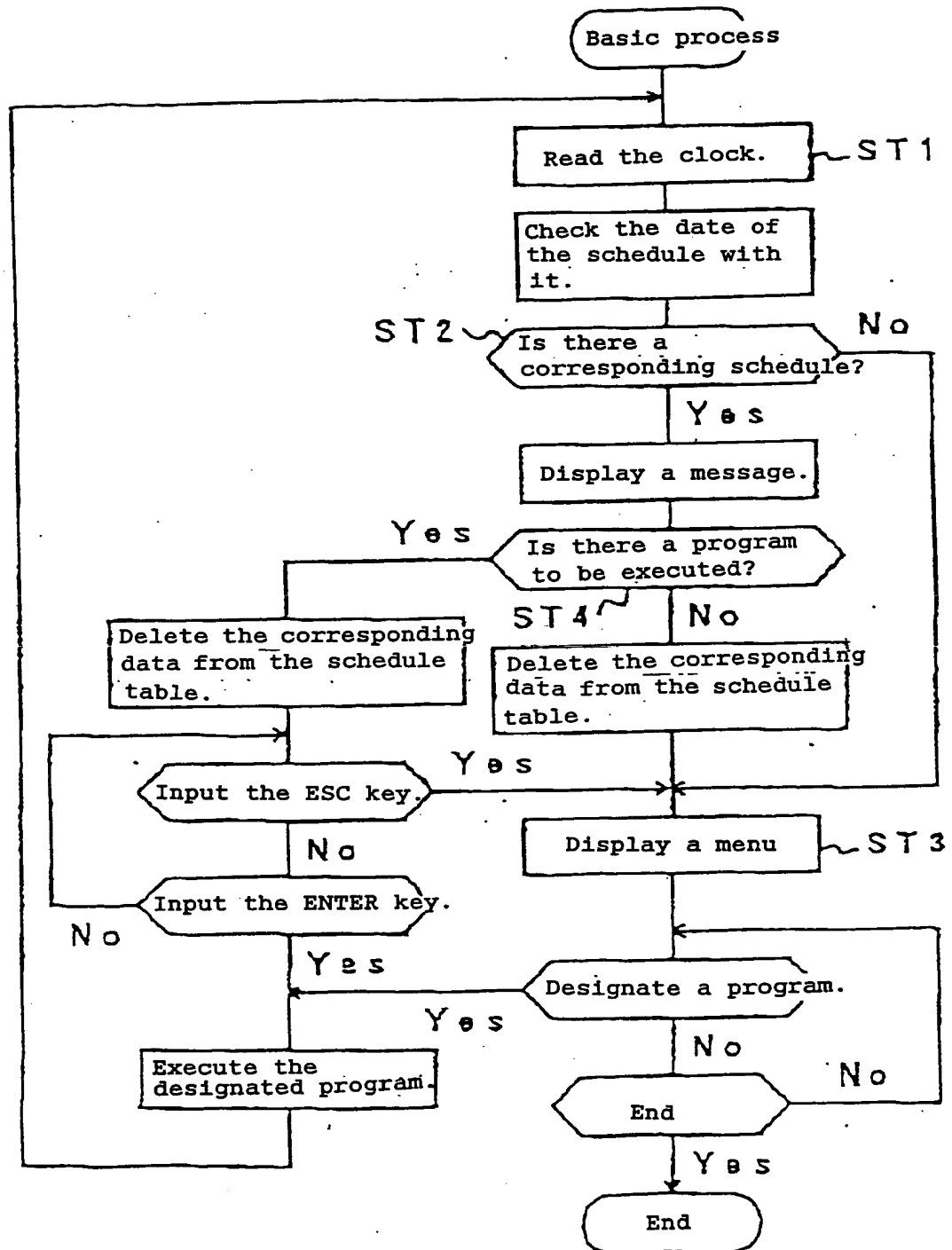


Fig.6

Sales billing management																					
<table border="1"><thead><tr><th>Job menu</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. Daily process</td></tr><tr><td>2. Settlement day</td></tr><tr><td>3. Monthly process</td></tr><tr><td>4. process</td></tr><tr><td>5. Introduction process</td></tr><tr><td>6.</td></tr><tr><td>7.</td></tr><tr><td>8.</td></tr><tr><td>9. Utility</td></tr></tbody></table>	Job menu	1. Daily process	2. Settlement day	3. Monthly process	4. process	5. Introduction process	6.	7.	8.	9. Utility	<table border="1"><thead><tr><th>Daily process</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. Delivery note of a product 00</td></tr><tr><td>2. Delivery note of a product ΔΔ</td></tr><tr><td>3. Delivery note of a product 00</td></tr><tr><td>4.</td></tr><tr><td>5. Sales monitoring</td></tr><tr><td>6. Payment monitoring</td></tr><tr><td>7. Sales slip cancellation</td></tr><tr><td>8. Payment slip cancellation</td></tr><tr><td>9. Billing balance reference</td></tr></tbody></table>	Daily process	1. Delivery note of a product 00	2. Delivery note of a product ΔΔ	3. Delivery note of a product 00	4.	5. Sales monitoring	6. Payment monitoring	7. Sales slip cancellation	8. Payment slip cancellation	9. Billing balance reference
Job menu																					
1. Daily process																					
2. Settlement day																					
3. Monthly process																					
4. process																					
5. Introduction process																					
6.																					
7.																					
8.																					
9. Utility																					
Daily process																					
1. Delivery note of a product 00																					
2. Delivery note of a product ΔΔ																					
3. Delivery note of a product 00																					
4.																					
5. Sales monitoring																					
6. Payment monitoring																					
7. Sales slip cancellation																					
8. Payment slip cancellation																					
9. Billing balance reference																					

拒絶査定

特許出願の番号 平成11年 特許願 第271916号
起案日 平成15年 7月16日
特許庁審査官 岩間 直純 9287 5L00
発明の名称 スケジュール提示およびそれに応じたアクション
提案・実行装置、その処理方法およびその処理の
ためのプログラムを記録した記録媒体
特許出願人 富士通株式会社
代理人 小笠原 吉義 (外 2名)

この出願については、平成15年2月24日付け拒絶理由通知書に記載した理由によって、拒絶をすべきものである。

なお、意見書及び手続補正書の内容を検討したが、拒絶理由を覆すに足りる根拠が見いだせない。

備考

特許業務課受領
25.8.4
処理期限
15.8.18

出願人は意見書において、引用文献1～3と本願発明とを対比し、引用文献1～3には、スケジュールが「スケジュールの提示の仕方」および「スケジュールに応じたアクションの提案・実行の仕方」の情報を持つことの記載がなく、「スケジュールの提示の仕方」および「スケジュールに応じたアクションの提案・実行の仕方」の指定により、インストラクションごとに「スケジュールの提示」および「スケジュールに応じたアクションの提案・実行」をする手段の記載もない旨指摘し、これに対し、本願発明では、スケジュール情報として「スケジュールの提示の仕方」および「スケジュールに応じたアクションの提案・実行の仕方」の情報を持ち、それらの情報の指定によって、インストラクションごとに「スケジュールの提示」および「スケジュールに応じたアクションの提案・実行」をすることができる旨指摘している。

しかしながら、引用文献1の info element の各 child element のように、情報の提示の仕方を特定するものは公知であり、また、スケジュール管理システムにおいて、アクションの提案、実行を行うことも周知である(例えば特開平10-187852号公報等)から、当該点は当業者が適宜引用文献1～3に記載されたものに付加し得たものと認められる。

よって、請求項1～10に係る発明は、引用文献1～3及び上記周知事項に基

整理番号 995-0889

発送番号 253739 2/E

発送日 平成15年 7月29日

づき、当業者が容易に想到し得たものと認めるから、出願人の意見は採用することができない。

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。

認証日 平成15年 7月29日 経済産業事務官 高安 広明

